



後期学校評価の結果をお知らせします

学校評価は、子どもたちがよりよい教育を享受できるよう、教育活動の成果を検証して学校経営の改善を目指すためのものです。学校経営の5つの重点の取組に対して、生徒・教職員・保護者アンケートの結果等を基に分析し、来年度の改善策についてまとめました。

※結果は、生徒と保護者のアンケートをもとにして示してあります。
 ※数字は全回答数に対して、選択肢A(よくあてはまる)、B(まあまああてはまる)、C(あまりあてはまらない)、D(あてはまらない)の回答数を%で示してあります。
 ※個々の判定は絶対評価とし、以下のabcdの4段階で判定します。
 a判定(達成)・・・A50%以上、b判定(ほぼ達成)・・・A40%以上50%未満
 c判定(未達成)・・・A30%以上40%未満、d判定(未達成)・・・A30%未満
 ※家庭・地域との連携に関しては、肯定的回答(A+B)を重視し、判定基準を変えてあります。
 a判定(達成)・・・A+B 80%以上、b判定(ほぼ達成)・・・A+B 40%以上50%未満
 c判定(未達成)・・・A+B 30%以上40%未満、d判定(未達成)・・・A+B 30%未満

○学校経営の5つの重点1 授業力向上(確かな学力を身につけさせる)について

a判定 ⑥宿題や提出物は、期限を守ってきちんと提出している。

- ②授業の始めと終わりのあいさつをきちんとしている。
- ①チャイムスタートができています。
- ④授業中、友だちや先生の話を目を注いで聞いている。
- ⑫授業はわかりやすい。

b判定 ⑨授業では、課題に対して自ら考え、自分から取り組んでいたと思う。

- ⑩話し合う活動やまとめを通じて、考えを深めたり広げたりすることができる。
- ⑪授業では、自分の考えを周りの人に伝えている。
- ⑧今している勉強は将来に役に立つと思う。
- ③授業では正しい姿勢を心がけている。
- ⑤授業中、友だちや先生が話をしているとき、うなずきながら聞いている。

c判定 ⑭中学校卒業後の進路のことについて、家庭で話している。

- ⑬夢や仕事について考えることがある。
- ⑦学年の目標以上の時間をかけて、家庭学習に取り組んでいる。
(1年60分、2年90分、3年120分)

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
65%	24%	9%	2%				
65%	30%	4%	0%				
64%	34%	1%	1%				
56%	41%	3%	0%				
52%	43%	4%	1%	18%	58%	18%	7%
49%	42%	8%	1%				
47%	45%	7%	1%				
41%	44%	14%	1%				
41%	47%	9%	3%				
40%	49%	10%	1%				
40%	40%	18%	2%				
36%	38%	18%	8%	23%	60%	16%	0%
35%	41%	18%	6%				
35%	36%	22%	7%				

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約80%程で前期より向上が見られる。前期より宿題や提出物は、期限を守ってきちんと提出しているについては5ポイント、卒業後の進路についてや夢や仕事についてなど将来につながる数値が7ポイントほどあがってきた。授業中の姿勢や家庭学習の時間は向上しているが、一層向上させたいところである。

来年度は取り組んでみたいと思うような課題の設定を心掛け、自分の考えを持つとともに、それを表現する活動を増やし、課題解決の過程も大切にしながら、対話的で深い学びにつなげます。個人懇談や進路に関する調べ学習や体験学習は継続して行い、キャリア教育の充実を図ります。授業中の姿勢、話を聞く態度がよくなれば学習効果につながるので引き続いて意識させます。

○学校経営の5つの重点2 生徒指導の充実(安心して学べる学校づくり)について

a判定 ②毎日、朝食を食べて登校している

- ④部活動や地域スポーツクラブの活動に積極的に参加している
- ⑥社会のルール(自転車マナーや交通ルールなど)や学校の規則を守っている
- ③朝読書の時間は、静かに本を読んでいる
- ⑤掃除はまじめに行っている。
- ①学校は楽しい
- ⑩時計をみて、時間を意識して行動している
- ⑨場に合った言葉遣いをしている

b判定 ⑦自分の健康に関心をもち、規則正しい生活を身につけている

c判定 ⑧自分のよいところを知っている

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
81%	13%	4%	2%				
77%	16%	4%	3%	61%	27%	5%	6%
76%	23%	1%	0%	43%	53%	4%	0%
72%	23%	3%	1%				
65%	31%	3%	1%				
60%	35%	4%	1%	35%	57%	4%	4%
58%	38%	4%	0%				
56%	42%	2%	1%				
46%	40%	13%	2%	22%	47%	26%	5%
38%	40%	19%	3%				

美中生の9割以上は学校は楽しいと感じており、そのほかの項目でも高い水準で肯定的回答をしている。学校生活の実態においても生徒は落ち着いて朝読書に取り組んだり、掃除に取り組んだりしている。部活動や地域スポーツクラブへも前向きに参加し、頑張っている生徒が多い。自分のよいところを知っているという生徒の割合が昨年度よりも向上しているが、まだ低いところが課題である。

来年度は学校生活や学校行事でよい部分を認める場面を増やしたり、目標を設定し、振り返る場を工夫したりすることで、自己肯定感が高まるように努めます。

○学校経営の5つの重点3
心の教育の推進（いじめや不登校の未然防止）について

a判定 ⑤いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている

①相手思いや言葉を使い、周りに困っている人がいたら助けたいと思う。

④自分には悩みや心配事があるとき相談できる人がいる。

②誰かがいじめや迷惑行為を受けている時、それを止めたいと思う。

b判定 ③先生や友達、生徒の良いところや努力しているところを認めてくれていると思う。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
81%	16%	2%	1%	60%	35%	3%	3%
61%	38%	1%	0%	33%	61%	6%	0%
56%	34%	9%	1%				
55%	41%	4%	1%				
47%	44%	7%	1%	30%	65%	5%	0%

美中生はいじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしていると感じている生徒がほとんどである。誰かがいじめや迷惑行為を受けている時、それを止めたいと思う生徒の水準も高く、いじめを許さないという思いをもつ生徒が多い。また、先生や友達に認められていると感じる生徒は昨年度より増加している。

来年度は学校生活全般を通じて生徒同士、生徒と教員が認め合える場面を意識し相談しやすい環境づくりにさらに努め、安心して過ごせる学校づくりを継続していきます。否定的評価な生徒には、個人懇談など継続に行い、よいところを見つけ、教員が共有し、認める場面を意図的につくっていきます。

○学校経営の5つの重点4
生徒会活動の活性化（生徒の活動が見える学校）について

a判定 ①学級における決められた係の仕事や委員会活動などにきちんと取り組んでいる。

②行事に積極的に参加し、学級のみんなや部活動のメンバーと協力し合っている。

b判定 ③学校や地域・家庭で相手も自分も笑顔になるあいさつをしている。

生徒				保護者			
A	B	C	D	A	B	C	D
68%	29%	2%	1%				
64%	31%	4%	1%				
49%	40%	10%	1%	31%	55%	13%	1%

美中生はどの項目でも肯定的評価をした生徒は約90%と高い水準である。特に、生徒会委員会や係の仕事に対して責任をもって活動し、行事への意欲がとても高く、積極的に取り組む。自分からあいさつをしようとする意識が若干低い。

来年度は、様々な行事を成長の機会と捉え、学校・学年・学級でのつながりを深めていくことができるよう努めます。あいさつも生徒会、部活動、縦割り班の様々な取り組みを継続していき、質を高めていく努力をします。

○学校経営の5つの重点5
家庭・地域との連携（保護者、地域の願いと自己実現）について

a判定 ①学校の教育方針や教育内容について理解している。

②学校は子どもや保護者の相談事によく対応している。

③学校日より、学年日より等の配布物やホームページには、よく目を通している。

保護者			
A	B	C	D
17%	70%	13%	0%
33%	62%	5%	0%
29%	61%	9%	1%

家庭・地域との連携は、どの項目でも肯定的な回答が85%以上と高い水準である。前期から継続して、さまざまな行事や育友会の集まりなどを通して、教育方針・内容を伝えてきた。また、相談に対しても、丁寧に対応を心がけてきた。2学期から連絡ツール「テトル」を運用することで、紙媒体と配信の両方を、内容にあわせて使用していることで「配布物やホームページによく目を通している」の数値も前期に比べて、8%上昇している。

来年度も、相談に対しては、情報の迅速な共有、適切な対応を継続します。配布物やホームページに関しては、配布時の学級での指導や連絡ツール「テトル」の運用を継続し、お知らせしていきます。また、ホームページで生徒の様子を今後もタイムリーにお知らせしていきます。

○学校関係者評価委員、学校評議員より

・3年生を中心にして、静かに落ち着いて授業を受けている。

・進路についての具体的な取組などを教えて欲しい。

→1・2年生は進路適性検査を行い、自分の進路適性などを確認し、進路について保護者との話し合いの機会にしている。

2年生はジョブカフェ訪問を行い、自分の進路について考える機会にしている。

・文化部の地域移行や募集停止になった部活などで、地域の協力で再開することはあるのか。

→これからの生徒数の減少とともに、教員数も減少していく。部活動全般において、予算のことも検討しながら、今後移行できるものできないものが出てくると考えられる。また生徒数が増加しない部活動としての再開は難しいが、学校の施設を利用しながらの地域の文化活動として活動することはできる。

・「いじめられたり無視されたりすることなく安心して過ごしている」の項目で、B「まあまああてはまる」16%、C「あまりあてはまらない」2%に対しての対応などはどうなっているのか。

→学校としては、アンテナを高くして、軽微なものでも本人が嫌な思いをしているものはいじめとして認知している。アンケートや本人からの訴えや保護者からの連絡などで把握したものは事実確認、指導をして、保護者連絡をしている。軽微な件においても連絡をしているため、保護者のいじめの認知の割合が増えていると考えられる。

・働き方改革が学校でも言われているが、先生方の働きがいなどに影響していないだろうか。

→学校アンケートにも働きがいを問う項目を入れることを検討していきたい。

学校評価の結果と学校関係者評価委員会の皆様や保護者のご意見をもとに、課題となっている項目を再検証し、学校生活がさらに向上していくように努めていきます。